



75
6582
4

< 98 - 140 >

序

の鏡珠玉ありとつくとて
拭ひ磨くを其光を成す
阿ふは從は統祐のそも
爲く自來を寐倉成を寐

又操平備をそはつと人乃
磨をさるる衆妙の域
至ん秋田河仁の里なる
そ心より物らひそり一
と結く身は海内のこと

鏡よりなるくお成集あは光り
おのしきより一平うふくは
弄月園より水くく免風撫の
殊もくもくさんとぬりつて
四方の法名あその志乃は成

愛く速く茶それ認のくく強れ
くく枯也首く云成紙す

慶應紀元乙丑之初秋

平安 又仲菴有前



湖之流

そよよ日乃暮る

あそく

夕の阿ま

有前



澤有前 五仲庵 京都



於阿、新あるを、想う、恐ら、甲、を、を、を、
 了、用、の、新、の、を、を、人、を、れ、是、を、を、
 心、耳、を、を、を、一、を、文、を、修、心、を、を、を、
 一、を、を、を、を、一、を、を、を、を、一、を、を、
 出、給、ひ、を、今、十、七、字、中、一、を、を、を、を、

此、風、傳、り、と、と、と、日、を、を、を、
 有、れ、を、を、を、乃、を、を、を、を、
 一、を、を、を、を、一、を、を、を、
 一、を、を、を、一、を、を、を、
 一、を、を、を、一、を、を、を、
 一、を、を、を、一、を、を、を、
 一、を、を、を、一、を、を、を、
 一、を、を、を、一、を、を、を、

昔の頃多岐神一々一々如

丙寅の冬

洛東

公成



公成 蓮蕉五代西之南
一筆 勤王家 京都

一々一々

我少也

一々一々





日向より見えたりか、ぬらふとて、
 産録のち、方、水、を、の、月、は、流、し、流、は、美、
 空、は、水、を、か、し、こ、こ、こ、羽、村、秋、月、の、世、清、味、風、
 在、月、の、水、は、流、し、こ、こ、こ、文、雅、に、能、く、中、外、の、名、
 派、の、諸、流、は、月、の、水、の、流、是、中、外、の、
 本、流、は、流、し、こ、こ、こ、流、は、流、し、こ、こ、こ、
 舟、本、月、の、流、は、流、し、こ、こ、こ、流、は、流、し、こ、こ、こ、

か、こ、こ、こ、竹、間、の、舟、は、流、し、こ、こ、こ、
 中、外、の、流、は、流、し、こ、こ、こ、流、は、流、し、こ、こ、こ、
 月、の、流、は、流、し、こ、こ、こ、流、は、流、し、こ、こ、こ、
 舟、本、月、の、流、は、流、し、こ、こ、こ、流、は、流、し、こ、こ、こ、

舟、本、月、の、流、は、流、し、こ、こ、こ、
 舟、本、月、の、流、は、流、し、こ、こ、こ、
 舟、本、月、の、流、は、流、し、こ、こ、こ、



題山水畫

方之

水之

山之

嵐光人



孤山亭師三益人印

俳聖芭蕉風應齋秋田士

之之

之之

之之

字印



江ノ木田子陸

水舟カサ

安下



月ノ本乃山千輪又梅の本江戸

白起石井鶴麻伊也本江戸

月ノ本乃山千輪

又梅の本江戸

白起



竹之如松如

梅之如松如

竹之如松如



白雲子山風午 竹之如松如
吳興 梅園 遠江 西人

吳興 梅園 遠江 西人

水之如松如

竹之如松如

竹之如松如



清如水

一五

五

清

清

一

一

一

一

一



物
の
し
る
て

て
し
る
て

御
い
さ
な
さ
ま

あ
ま
り



て
し
る
て

い
さ
な
さ
ま
の
し
る
て

あ
ま
り



南無阿彌陀佛の證

酒陣とて三流

歴々の
後久の志

文海

百花園自長京都住人

大寺園文海京都住人

りはの多き成りなりとちんれ
結らるるを志す

梅々まやらのるるの

結らるるを志す

自長

竹年

海山内物年

寫



夕

具

永年



之風

心之

春之

下之

又之



西之

海之

振之

可之

江之



無田の意氣

草花

あつた

あつた

あつた



湯妻浮城



横翠翁詞の人

お清一

まよふ

お清一

湖海



孝正のなをま

—き—の

と—の

楓 

鳥岳 西亭の入り

秋—も—

秋—も—

山

長息齋 

天の川

天の川

天の川

天の川

天の川

天の川

天の川

天の川

海女の月

うららかに

海をくぐり

と物



柳の梅の

松の

海女



山崎の書

好

く

廣



古今 一紙 嘉皇 上海

朝

下

塔



海舟先生

先生の御筆

自叙傳

佳月



甘志阿中舎田志江片
佳節

甘志阿中舎田志江片

佳節

甘志

うらまは結き

後きや若の家

若菜

三葉庵本和江戸文久年

うらまは結き

うらまは結き

若菜

白
大
引
如
如
如
如

白
此
身
堂
印
花
石
版
灣
人
柏
如
女
崇
孤
園
園
日
上
總
人

白
如
如
如

白
如
如
如

白
如
如
如

柏
如
如
如



去年より

是より

椿

五


卜早 龍の首竹京江
甘野庵上休考阿爾本氏江

星子志

若尾も

料の

卜早


國のやうなる
はまのふに
あまのふに
あまのふに



書秋庵三木雄

権弘美



あまのふに

あまのふに

あまのふに



山崎のまゝり
はるかにとて

成東



廿加言 考甚並舎 中沃白上油

山崎のまゝり

はるかにとて

山崎のまゝり

はるかにとて

山崎のまゝり



天
地
人
和
平

天
地
人
和
平

天
地
人
和
平

津の國を香以梅阿弥李履
字吟和桃江園梅の字細才氏
江戸大通を以て辨せり

卓志田島破笑庵尾折之太師匠

天
地
人
和
平

天
地
人
和
平

天
地
人
和
平

卓志



老猿の心

井守如く

福子 老の心

信陽 老の心



老の心

有らぬ

月と梅

老の心



田舎浦江の岸

浪ふとと 岸

たふら

か びり
とら

懐かやま

松陰



桂花在松洲 秋 秀
木 澤 大 阪

松陰素山亮亦會田湛節
秋 田



戸成常々

たか

海 中 獨 如 恋

素山 湛 亦





峰

石

空

川

水

枝

石

空

梅泉破而兼凉松園 鍾田 川井



高子所

石





